



障がい者サポーター養成事業 導入講座「ありがとうで結ぶ障がい者サポーター」について

亀山市は、「亀山親なきあとを考える会つむぐ」との協働により、来月30日（土）、障がい者サポーター養成事業の導入講座「ありがとうで結ぶ障がい者サポーター」を開催します。

障がいのある方々は、日常生活の中で、ちょっとした不便や困難を感じる場合があります。また、障がいの中には、発達障害など、外見からは判断しづらいことから、当事者が抱える困りごとに周囲の人が気づきにくいことがあります。

そこで、市と「亀山親なきあとを考える会つむぐ」では、障がいの特性や障がいのある人が必要とする配慮等について理解を広めるとともに、障がい者本人及びその親とサポーターをつなぐしくみを創ることを目的に、ちょっとした支援や配慮を実践できる障がい者サポーターの養成事業として、講座と交流会を継続的に開催します。

その中でも、5月30日（土）は、導入講座として、日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科の木全和己（きまたかずみ）教授ほか学識経験者をお招きし、基調講演とグループワークにより、障がいについて皆で考え、学んでいただく機会として開催するものです。導入講座の開催後は、7月から3月まで全5回の講座および交流会を開催します。

この機会にぜひ、多くの市民の皆様にご参加いただき、障がい者支援のネットワークを広げてまいりたいと考えております。

なお、詳細につきましては、別紙資料をご覧ください。